

藤田組 創業90周年記念セミナー開催

鉄人・衣笠祥雄氏が講演

意欲向上の秘訣 楽しみを見つけて取り組む

藤田組(東 催した。当日は元プロ野
京都・藤田裕 球選手の衣笠祥雄氏が
社長)は7月 「限りなき挑戦」をテ
12日、東京都 マに講演した。

その2カ月後に関 することができた」と謝
東大震災を経験したが、 辞を述べた。
当時としては最も新しい 講演では2215試合
郵船ビルに事務所を構え 連続出場など数々の記録
ていたために難を逃れ を打ち立て、引退後はプ
た。昭和に入り、太平洋 口野球解説者として活躍
戦争も経験したが、皆さ し、国民栄誉賞なども受
賞している衣笠氏が中学
生時代から引
退するまでを
振り返り、野
球人生の中で
経験した苦悩
や喜び、プロ
として第一線
で活躍する心



藤田常務



衣笠氏



満席となった会場

構えなどを語った。プロ
野球界に入った当初の2
年間に挫折を味わった経
験を踏まえて、「技術だ
けでは成功しない。まず
は人に負けない体力を持
つこと。次に試合にベス
トな状態で
臨むために
休むときは
休む。プロ
はグラウンド
を離れた残
りの時間で
勝負が決ま
る。何のた
めにプロと
なり、どの
ような努力
を行ったの
か目的意識
を持つことが大切だ」と
強調。24時間のうち、試
合以外の時間は睡眠も重
要な練習時間ととらえて
自己管理を徹底するとこ
もに、150km/hの速球に
は150km/hのバットスピ
ードが出れば打てると思
えて徹底してバットを振
り続ける練習も行ったこ
となどを語った。

参加者からの質問に答
える時間も用意され、
「意欲を向上させる方法
は」との問いに、衣笠氏
は「野球は確かに仕事だ
ったが、お金のためにプ
レーをしたと考えるとこ
とはない。仕事だから頑
張らなければならぬと思
えば苦痛やプレッシャー
になる。楽しみを見つ
けて取り組むことが大
切」と答えた。

会場には約70人が詰め
掛け、サイン会も催され
た。